

るんちゃんの  
知恵袋



## 子どもの歯ならび (乳幼児)

### 歯列の時期

一般に生後 6~9 か月ごろ、下あごの乳中切歯<sup>にゅうちゅうせつし</sup>2 本が生えてきます。離れたり少しねじれたりして出てくることもありますが、あまり心配はいりません。続いて生後 8~11 か月ごろに上の乳中切歯 2 本が生えてきます。そして、2 歳半~3 歳前後に乳歯列は完成しますが、個人差もありますのであまり気にしないでよいと思います。

5~6 歳頃になり、乳歯から永久歯に生えかわる時期が近くなると、乳切歯のあたりでは、歯と歯の間にすき間ができます。これは歯の生えているあごが発育したためで、大きな永久歯のスペースづくりのための準備であり、すき間があるほうが都合がよいのです。

### 永久歯に生え替わる時期

永久歯で最初に顔を出すのは、六歳臼歯<sup>ろくさいきゅうし</sup>とも呼ばれる第一大臼歯<sup>だいいちだいきゅうし</sup>で、乳歯列の最後方に生えます。さらに 6~7 歳頃には前の乳歯が抜け、永久歯と次々に交換します。この時期に笑っている子どもたちの顔を見ると、上の永久中切歯<sup>えいきゅうちゅうせつし</sup>の間には、すき間があいていることがあります。この頃に歯並びが一時的に不ぞろいになるのは、きれいな永久歯列が完成するまでの準備期間です。さらに前歯に続いて第一小臼歯<sup>だいいちしょうきゅうし</sup>や犬歯<sup>けんし</sup>が生え、12~13 歳頃には、奥の第二大臼歯<sup>だいにだいきゅうし</sup>まで全て生え替わって 28 本の永久歯列が完成します

### 不正咬合の兆候を見逃さないために

人の身長や体重の成長発育には、乳幼児期と思春期の 2 つに大きなピークがあり、この時期に歯列やあごの著しい成長発育も見られます。むし歯治療はもちろん、歯の定期健診、歯みがきの指導を受けるなど、歯の成長発育にもできるだけ関心をもってお口の健康を守ってあげましょう。

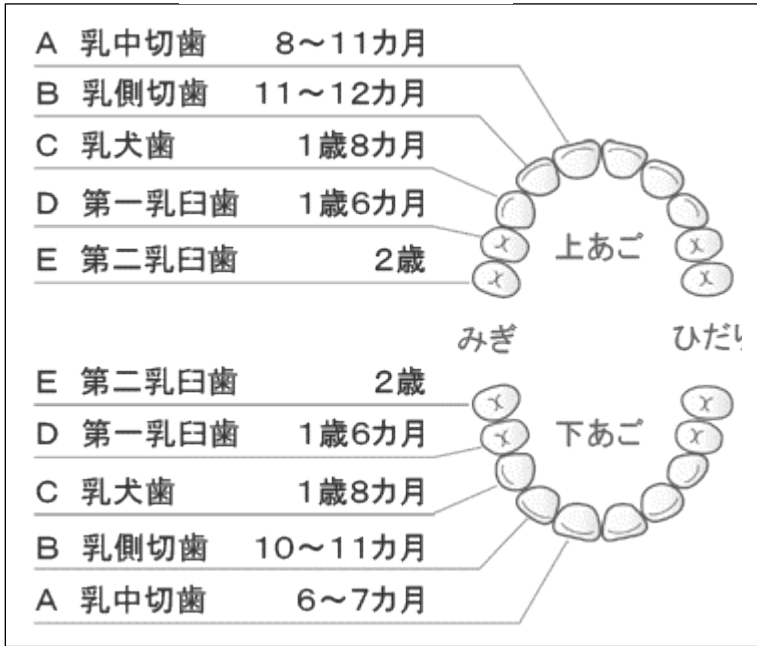
具体的には、次のようなポイントをチェックしてください。

- (1) 六歳臼歯が正常に生えてきたかどうか。
- (2) 上の 2 本の前歯の間に 5mm 以上のすき間がないか。
- (3) 乳切歯がいつまでも抜けずにいないか。
- (4) 側切歯<sup>そくせつし</sup>の生えてくる場所がなく、裏側から生えていないか。
- (5) 前歯の咬み合わせが反対になっていないか。
- (6) 指しゃぶりや舌を突き出すくせがないか。
- (7) 奥歯を咬み合わせたとき、横にずれていないか。

参考: 日本小児歯科学会 「こどもたちの口と歯の質問箱」

日本臨床矯正歯科医会神奈川支部 <http://www.kanagawa-kyouseishika-ikai.jp/kids.html>

乳 歯



永 久 歯

